

事業所名

マムの丘あま

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

法人（事業所）理念	それぞれの自立に向かって、真心込めて寄り添います			
支援方針	集団活動・学習支援・運動療育などを通して、個々の特性合わせた総合的支援をする またお出かけなどのイベントを通して、社会のルールや約束事を守ることのできる社会性を培っていく			
営業時間	10時	00分から	19時	00分まで
	送迎実施の有無		あり	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康状態の把握[手洗い・検温] ・会話での体調確認・服装指導[季節に応じた服装に対する意識付け] ・手洗い指導 ・生活習慣や生活リズムの形成[長期休暇後の登校に対する早寝早起きの意識付け] 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体感、バランス感覚を鍛えるための器具を使用した取り組みを実施 ・製作を通して指先トレーニングを実施 ・リズム感覚を養う遊び（運動）を職員から促して実施している ・体力をつけるための運動（プール、鬼ごっこ）を意図的に実施 ・集団政策を通して色彩感覚を養う活動を実施 ・状況に応じての姿勢の保持が一定時間保てるように全体への声掛けを継続的に実施している ・他事への関わりの際の力加減を観察、助言している。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所活動の時間割ができおり、子どもに分かりやすい生活の流れとなっている ・ゲーム遊びを通して（ルール、勝ち負けがある）、勝ち負けのこだわりや感情の崩れを緩和・コントロールできるようにしている ・社会性やマナーについて学んだことを日常の集団活動やイベントといった社会経験を通じて精神的な成長を促す 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・発語のない子に対して、絵カード等を活用して支援を実施 ・『言ってはいけない言葉やジェスチャー』を事業所内で定めて支援、指導を実施している ・他利用者との挨拶等を行い積極的なコミュニケーションを促す 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを安心して相談できる環境（個別で話せる場所や環境を児童と相談している）作りを行っている ・予めルール、マナーを定め外出を行ってイベントに参加する事で社会や他人と関わる機会を作る ・日常会話の中で、社会で非難を受ける言葉や行動が出た際に、正しい内容の指導や助言を行っている ・気持ちが崩れた際のクールダウンの場を用意し、気持ちの整え方について助言、指導を行う 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援後にその日の様子を伝達 ・ご家族の状況に合わせて、支援・相談・アドバイスを行っていく 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が入学・進学するにあたり小・中学校と連携をとり、支援の一貫性を図る ・児童が無理なく生活のできるよう情報共有をしたり、相談援助を行う 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と児童の能力を鑑みながら、必要かつ実現可能な支援を考察・実行していく 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・障害支援に関する研修への参加を実施 ・事業所内のミーティングを通して児童理解の向上及び、情報共有を行っていく 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・お出かけ・製作遊び・クッキングレク等 ・季節の合わせた活動（正月遊び・節分・プール遊び・ハロウィンパーティー・クリスマス会等） 			